

<参加生徒の感想>

○ 芸術工学はデザインによる形、仕組みを提案するもので、芸術工学部とはデザインで「幸福」「福祉」を実現させる部だと知った。例えば、道路を作る時の環境への影響だったり墓地のデザインだったり、そもそもデザインとは新しい価値観を創造、表現することだと分かった。芸術工学が生物学、工学と様々な分野の教養とを合わせて新しい風景を作るように、様々な分野が関係しているから、お互いの分野のことをよく知る必要があると知った。だから一つの学部にとられずに視野を広げて調べようようにしたい。

○ 今後の食糧危機について、多くの観点からデータを用いて分析されていた。人口の増加と経済の発展によって、食糧の需要量は大きくなる中、生産量の向上には、地球温暖化による全体的な不作も相まって厳しく、結論として食糧不足に陥るだろう、と話されていて、データを総合して分析することで、説得力が飛躍的に増加するのだと改めて思われた。

○ 普段何気なく使っているスマホやパソコンが、全て緻密な計算によって動いていると知って驚いた。情報はこれからも成長が期待される部門だと思うので、もっと知って詳しくなりたいと思った。

○ 経済は私たちの生活ととても深い繋がりがあることがわかりました。普段使っている SNS や欲しいものについて考えた時、「なんで使っているのか」「なんで欲しいのか」その理由が「そのものの価値」になるんだということを知りました。流行りだから、必要だから、何となく、様々な理由があれど、私たち消費者が求めるものを考えて生み出すことにマーケティングが繋がっていると聞いて、いかに消費者をハマらせるかが経済のポイントなんだと思いました。日常でも様々な気付きがあるので、これからはもっと経済に触れて行きたいと感じました。

<受講のようす>

